

高齢者施設等で感染対策を担うリーダーを養成 保健所と地域の医療機関が連携して研修会を開催します

庄内保健所では、高齢者施設及び障がい者施設等における感染症対策の充実を図り、施設内への感染症の持込みと発生時の拡大を防止することを目的に、施設内において感染症対策の中心となって活動できるリーダーを養成するための研修会を地域の医療機関と連携して初めて開催します。参加申込みは締め切りでしたが、当日の取材につきまして、御協力くださるようお願いいたします。

【事業概要】

1 日 時 令和6年10月2日（水）午後1時30分から3時30分まで

2 場 所 庄内総合支庁講堂

3 内 容

(1) 講義・演習

(ア) 「標準予防策（手洗い、手指消毒）について」

講師 庄内余目病院 感染管理認定看護師 さいとう ゆり 齊藤由理 氏

(イ) 「標準予防策（マスク、エプロン、手袋の脱着）について」

講師 県立こころの医療センター 感染管理認定看護師 たかやまきとし 高山公利 氏

※ 感染管理認定看護師（ICN：Infection Control Nurse）

医療関連感染サーベイランス（感染症の発生状況把握・分析等）の実践、施設の状況の評価と感染予防・管理システムの構築の分野において、熟練した看護技術と知識を有する者として、日本看護協会の認定を受けた看護師

(2) グループワーク・意見交換

管内医療機関の感染管理認定看護師（6名）が加わった6グループに分かれ、自施設の感染対策について課題を検討し、今後の取組みについて話し合います。

4 対象者

高齢者施設等において感染症対策を担うリーダー（40名程度）

5 その他

本研修は10月から2月まで別紙のとおり合計4回開催し、全4回を受講した方には庄内保健所から修了証を発行します。第2回以降は行事予定としてお知らせします。

